

■ドイツ：風力発電の増加に伴い電力系統の危機的な状況が増加傾向

2010年1月8日付地元紙は、風力発電の増加に伴って電力系統が危機的な状況に陥る日数が増加しつつあると報じている。同紙によれば、バッテンファル・ヨーロッパ社の送電系統運用会社が危機的な状況（Critical Network Situations）と判断した日数は、2006年には80日だったものが、2007年には155日、2008年には175日、そして2009年には197日と増加の一途をたどっている。同紙は、その理由として、ドイツ北東部の風力発電導入量の増加、風力発電の出力予測の難しさなどをあげている。